



Hola! (オラ!こんにちは)

オラが町

オリパラ通信 Vol.27

**チリ。パラリンピック
選手団の直前合宿が
始まります!**

今月は、チリのパラカヌー選手1名とパラ陸上選手3名が、加美町で直前合宿を行います。7月号では、パラカヌー選手を紹介しました。

今回は、パラ陸上の3選手を紹介します。



フランシスカ・マルドネス
(円盤・砲丸)

22歳の時から車いす生活となり、リハビリで車いすテニスを始め、パラリンピック大会に2度出場。

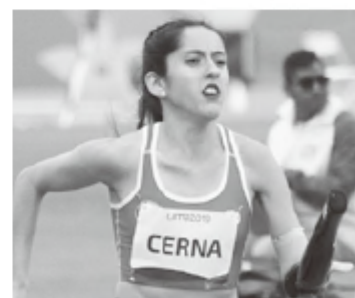
2018年にパラ陸上に転向し、今年3月の世界大会では、円盤投げと砲丸投げで金メダルを獲得しました。



クリスチャン・バレンスエラ
(1500m・5000m)

12歳の時に緑内障により失明。23歳で陸上を始め、1年後には早くも世界大会に出場しました。これまでパラリンピック大会に3回出場し、ロンドン大会ではチリ唯一のパラ金メダリストに輝きました。

4度目となる東京大会では、2つ目の金メダル獲得が目標です!



アマンダ・セルナ
(200m・400m)

先天性の左前腕欠損でありながら、幼い頃からスポーツが好きで、小学校から陸上を始めました。

リオ大会では4位の成績を収め、今年5月の世界大会では200mと400mで金メダルを獲得。東京大会では表彰台に上がることが目標です!

直前合宿について

8月8日から町内で合宿を始め、パラ陸上は21日、パラカヌーは27日に選手村へ移動します。パラ陸上は陶芸の里スポーツ公園、パラカヌーはB&G海洋センターと鳴瀬川カヌーレーシング場で練習します。

新型コロナウイルス感染症対策のため、合宿期間中は選手との交流はできませんが、スタンド等から観戦し、応援をお願いします!